

令和7年度第2回倉吉市男女共同参画推進市民会議 会議録

■日時：令和7年7月30日（水）

午後1時30分から午後2時45分まで

■場所：倉吉市役所第2庁舎 会議室201

日 程

【出席者】

○委員 岩間会長、河本副会長、井中委員、尾崎委員、中尾委員、花田委員、福井委員、藤山委員、和田委員（9／12名）

○事務局 東本市民生活部長、菅野人権政策課長、光村課長補佐兼人権同和対策係長、加藤男女共同参画係長

【内 容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）第7次くらし男女共同参画プランの策定について

発言者	内容
事務局	（資料1～4に基づき、第7次プランの推進方針及び体系等について説明）
委員	資料2「1. 国の方針」の中に「女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり」との記載あるが、「女性に選ばれる」とはどういう意味か。
事務局	国が掲げている方針の中で問題視されているのが「東京一極集中、女性が地域に残らず流出してしまう」ということ。これを避けるために「女性に選ばれる」という表現が使われている。倉吉市においては、現に暮らしている人に焦点を当てたいと考えているため、この表現は使わないこととしている。
委員	国は「”若い女性”に選んでもらい、”子どもを増やす”」というような意図で言っているように思う。
委員	「女性がいれば子どもが増える」という視点はどうかと思う。意識調査の結果を見ても、最近は若年層を中心に「結婚しても必ず子どもを持つ必要はない」と考えている人が増えている。
委員	年をとってもいきいきと暮らしている環境があれば、それだけでロールモデルになる。「そんな暮らしがしたい」「そんなふうになりたい」と思われる生活ができていれば「若い女性に移住してほしい」なんて言葉は出てこない。「女性活躍」という前に、現状はどうかを見直すことが必要と感じる。
委員	男女共同参画の取組が始まった頃は男性の理解が少なく、とても大変だった。「女性の地位を上げよう」「女性も発言できるようにしよう」と一生懸命取り組んできたことで、現在の形になってきたのだと思うし、変わってきた、良くなってきたと思う。最終的な目的としては、「女性の活躍によって男性も暮らしやすくなった、社会が良くなった」と感じられるようになることだと思う。どう変わったのか、どう良くなったのか見えるようにしてもらいたい。
事務局	ステージは上がってきている。この意識の向上が社会の基盤や職場での環境整備などに繋がっているかどうかを見ながら、次期プランの策定に向かう必要があると思っている。

委員	「女性活躍」と言われるが、家事、子育てのある中でさらに仕事も頑張れというのは厳しい。女性が活躍するための制度の整備が追いついていない。
委員	調査結果を見ると、女性の地域活動への参加率が少ない。自分が自治公民館活動をしてきた中で、役員としての活動については男性が多いが、講座やサークル活動などは女性の方が参加が多いという印象を受ける。「地域活動」も色々なものがあるので、「地域活動に参加」という言い方は少し大雑把かもしれない。 また、活動していない女性が増えている。以前は子ども会活動と自治公民館活動を一緒にする機会も多かったが、今は子ども会活動自体が規模縮小しており、若い女性が地域活動に参加する機会がなくなっている。
委員	基本目標3の中に「困難を抱えても安心して暮らせる環境の整備」とあるが、高齢者の一人暮らしが大変多くなっている。何かあった時、いざという時に安心な仕組みについても考えていただきたい。
委員	時代は変わり、地域活動も家庭生活も認識が様々になってきている。法律婚をしない人、独身でも子どもを持ちたい人などもある。どんな人も受け入れられ、同じ権利を与えられるという社会に日本はまだなっていない。課題はまだ山積していると感じる。若い人たちがもっと希望をもって活躍できる地域にできれば。
委員	「働く女性」のロールモデルだけでなく、地域に根ざして活動するロールモデルもアピールしていくことが必要では。仕事をしていない専業主婦でも、地域の中で頑張っている人がいる。都会と違う形で、倉吉は何を売りにするのかを考える時にポイントになってくるのでは。

4 その他

(1) 第7次くらし男女共同参画プランの策定スケジュールについて

発言者	内容
事務局	(資料5について説明) 本日お示した体系を基本に、今後、各課と調整し、現状に合った具体的な取組について検討していく。第3回市民会議においてはプランの諮問を行い、素案をお示しする。12月にはパブリックコメントを行い、年度末までに策定を完了する。

(2) 委員改選期について

発言者	内容
事務局	当審議会の委員の任期は条例により2年と定められており、今年度は改選期にあたる。プラン策定のさなかでもあるため、引き続きお願いできればと思う。

(3) 連絡用メールアドレスの確認について

発言者	内容
事務局	(事務局より今後の連絡方法について確認)

5 閉 会